

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017 応募の手引き

2017.9.1 版

1. 応募方法の概要

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2017 の応募にあたり、必要な手続きおよび提出資料を以下の(1)(2)に示します。

(1) 応募費用の振込と振込金受領書(写し)の FAX 送付

応募費用は1件5万円(住宅シリーズ・地域区分・仕様あたり)となります。所定の金額を以下のいずれかの口座にお振込み下さい。

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店 普通口座 2045720 名称: ザイ)ニホンチイキカイハツセンター	郵便振替 口座番号 00190-5-48953 加入者名: 一般財団法人日本地域開発センター
--	--

お振込み後、各金融機関発行の振込金受領証(振込受付書、ATM 利用明細など)の写しを FAX で以下の事務局に送付して下さい。本資料の末尾に台紙のサンプルがありますのでご利用下さい。

事務局: 一般財団法人日本地域開発センター FAX: 03-3501-6855 TEL: 03-3501-6856

お振り込みに関する確認・お問い合わせ等も上記の事務局にお願いいたします。

(2)提出資料一覧

応募費用のお振込み後、下表の①～⑧の資料を指定のファイル形式で作成し、電子メールまたはファイル転送サービスで下記の事務局メールアドレスに提出して下さい。各資料の詳細は p.7 以降をご覧ください。

事務局メールアドレス: info@house-of-the-year.com

資料番号	資料名	必須／任意	配布ファイル名	シート構成・記入内容等	提出ファイルの形式・数量・ファイル名 その他注意事項
①	基本情報と 応募シリーズ概要	必須	2017_01_gaiyou.xlsx (記入して提出)	・基本情報シート ・シリーズ概要シート1～3	・Excelファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・ファイル名の先頭を「2017_01」
②	視点1-1 外皮仕様	必須	2017_02_gaihi.xlsx (記入して提出)	・記入要領シート ・U値シート ・UA値等シート ・付録シート	・Excelファイル×シリーズ数 ・ソフト等からの出力も可とします (条件あり) ・ファイル名の先頭を「2017_02」
③	視点1-2 一次エネルギー 消費性能計算結果	必須	2017_03_ichiji.pdf (入力・出力方法の解説資料 ※提出不要) 計算プログラムから出力されるPDFファイルを提出	・一次エネルギー計算結果	・PDFファイル×応募件数 (太陽光発電採用時はさらに×2 (各条件で「採用しない」としたものを追加)) ・「エネルギー消費性能計算プログラム」で出力されるPDFファイルを提出して下さい ・ファイル名の先頭を「2017_03」、シリーズ名・地域区分・太陽光発電有無等がわかるファイル名
④	視点2 省エネ設計手法 ・設備、健康・快適性への取り組み	任意	2017_04_shouene.docx (記入して提出。他書式での提出もOK)	・通風利用設計手法 ・日射熱・蓄熱利用手法 ・省エネ設備 ・健康・快適性向上への取り組み など	・PDFファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・書式は自由です (手法の区分1つにつき2ページ以内、資料全体で12ページ以内) ・ファイル名の先頭を「2017_04」
⑤	視点3-1 情報発信	任意	なし	・ウェブサイト・パンフレット・雑誌等、各種媒体による一般ユーザーへの省エネ関連の情報発信内容	・PDFファイル×1 (応募企業ごとに1つ) ・書式は自由です (4ページ以内) ・ファイル名の先頭を「2017_05」
⑥	視点3-2 仕様の標準化	任意	なし	・標準断熱仕様・標準設備等が明示された資料など	・PDFファイル×シリーズ数 ・書式は自由です (4ページ以内) ・ファイル名の先頭を「2017_06」
⑦	内外観写真	必須	なし	・実物件、モデルハウスなどの内外観写真	・PDFファイル×シリーズ数 ・書式は自由です (4ページ以内) ・個人情報が判別できない写真をご使用下さい ・ファイル名の先頭を「2017_07」
⑧	実物件図面	必須	なし	実物件の図面とし、以下の図面を含むこと ・各階平面図 ・立面図 ・矩計図	・PDFファイル×シリーズ数 (断熱仕様が複数ある場合は矩計図を追加) ・モデルハウスの図面は不可とします ・個人情報が判別できないように加工して下さい ・ファイル名の先頭を「2017_08」

2. 応募方法の詳細

(1) 評価対象

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017 の評価対象となるのは、次のとおりです。

①新築・戸建の「住宅シリーズ」

②平成28年10月1日から平成29年9月31日までの1年間^{※1}に、2棟以上の新築竣工実績^{※2}を有すること

※1 ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016 以前とは、竣工実績を集計する期間が異なりますのでご注意ください。

これにより、「竣工見込み」の棟数の評価は行わないこととしました。

※2 モデルハウスは売却予定の有無によらず竣工実績とはみなしません。

なお、「竣工」の定義は検査済証の発行または建築主への引き渡しを指すものとします。

[留意事項]

- ・「住宅シリーズ」とは、同一の商品名や、類似したデザイン・仕様等で括られる複数の住宅を指します。
- ・過去に応募された住宅シリーズ(各賞を受賞されたシリーズを含む)でも再度応募することができます。ただし、過去に「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック『大賞』」および「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー『大賞』」を受賞した住宅シリーズについては、省エネルギー性や普及度に特段の向上が見られない場合には再度『大賞』を受賞することはできません。
- ・本制度は、住宅シリーズを「標準的な仕様^{※3}」での省エネ性能等を評価・表彰することを基本とします。特定の優れた一棟の住宅を評価するものではありませんのでご注意ください。住宅シリーズにおいて、お客様が設備の種類・仕様(特に断熱仕様、給湯・暖冷房設備の熱源・機種等、太陽光発電の容量等)を任意で選択可能なものについては、「標準的な仕様」を特定したうえでご応募下さい。

※3 「標準的」とは、「当該住宅シリーズの説明資料等に記載されている」「供給戸数が最も多い」あるいは「商品コンセプトに最も合致する」などを想定しています。

(2) 応募受付期間

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017 の応募受付期間は次のとおりです。

平成29年10月15日(日)～平成29年10月31日(火)

この期間内に、応募費用の振込、および応募資料①～⑧の提出を完了して下さい。

(3) 評価の視点

次の3つの視点から、応募資料を審査します。

視点1: 外皮・設備の省エネルギー性能値

「住宅の省エネルギー基準(平成28年省エネルギー基準)」のエネルギー消費性能計算プログラムを使用し、住宅の躯体・開口部・設備機器の性能を数値化して評価します。

※建物形状、プランなど設計の工夫はここでは評価せず、各応募者共通のモデル住宅を使用して評価します。

視点2: 多様な省エネルギー手法の導入、および健康・快適性その他の取り組み

視点1での定量的な評価が難しい省エネルギー技術や設計手法、健康・快適性その他への取り組みを総合的に評価します。

視点3: 省エネルギー住宅の普及への取り組み

高性能住宅の供給戸数や情報発信等、普及への各種取り組み、記載された仕様・設備等がどれだけ標準化されユーザーに明示されているかなどを総合的に評価します。

(4) 応募単位(応募件数)

応募件数は以下に従って定めて下さい。

- ①複数の住宅シリーズ名で応募する場合、シリーズ名ごとに1件とします。
- ②複数の省エネ地域区分で応募する場合、地域区分ごとに1件とします。
- ③断熱仕様・設備仕様の組合せが異なる場合、組合せごとに1件とします。

以下に件数の例を記します。

例1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスA	/	/	/	/	応募	応募	/	/
レジデンスB	/	/	/	/	/	応募	応募	/

この場合、応募件数は「4」となります。

例2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスC	高断熱仕様で応募				/	/	/	/
	/	/	/	通常断熱仕様で応募				/

この場合、応募件数は「8」となります。

なお、応募する省エネ地域区分の選定方法については次の(5)をご確認下さい。

(5) 応募する地域区分

平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までの 1 年間に竣工実績を有する地域区分で応募して下さい。

地域区分は、住宅の省エネルギー基準による地域区分(1～8 地域)に従います。どの地域区分に何棟を竣工したか、確認のうえ応募して下さい。**竣工実績のない地域区分には応募できません。**

都道府県・市町村と地域区分の対応は、省エネルギー基準の解説書または国土交通省の省エネルギー法関連情報サイト(http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk4_000005.html)で、「○告示」→「■エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」→p.34 以降 などの資料を参照して下さい。

応募する住宅シリーズが複数の地域区分で竣工実績を持つ場合は、次により応募する地域区分を決定して下さい。

① 応募する住宅シリーズの竣工棟数が多い **上位 2 つの地域区分には必ず応募**して下さい。それ以外の地域区分での応募は任意です。

② ただし、平成 28 年度(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日^{※1}。 **応募シリーズの竣工棟数集計期間とは異なります**)における新築戸建住宅の総竣工棟数(応募する住宅シリーズ以外の住宅も含む)が 50 棟以下の企業^{※2}は、住宅シリーズの竣工棟数が最も多い地域区分 1 つのみの応募でかまいません。

※1 企業の会計年度の期間がこの期間と異なる場合は、会計年度における平成 28 年度の集計としてもかまいません。

※2 企業グループで応募する場合は、企業グループ全体で 50 棟以下の場合とします。

以下に地域区分選定の例を示します。

例 1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)	0	0	0	15	10	50	20	0	95
応募する企業の総竣工棟数 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)	0	0	20	30	50	100	50	0	250
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	○	○	◎	◎	×	

この場合、平成 28 年度の総竣工棟数が 50 棟を超えているため、応募シリーズの竣工棟数の上位 2 区分(6 地域および 7 地域)には必ず応募して下さい。それ以外で期間内に竣工実績のある 4・5 地域にも応募することができます。平成 28 年に当該シリーズの竣工実績のない 1～3 および 8 地域には応募できません。

例 2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)	0	0	0	0	3	10	1	0	14
応募する企業の総竣工棟数 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)	0	0	0	0	5	20	0	0	25
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	×	○	◎	○	×	

この場合、平成 28 年度の総竣工棟数が 50 棟以下のため、応募シリーズの竣工棟数上位 1 区分(6 地域)のみの応募でかまいません。期間内に竣工実績のある 5・7 地域にも応募することができます。この例の 7 地域のように、全体で 2 棟以上の実績があれば、1 棟しか竣工していない地域にも応募できます。

(6) 評価・表彰単位

① 評価および表彰は、住宅シリーズごとに行います。複数地域で応募された場合、「視点 1」の数値は各地域区分の竣工棟数に応じて加重平均した値で評価します。

② 同一の住宅シリーズであっても地域ごとに断熱仕様・設備仕様(特に給湯熱源)等の差異が大きい場合は、別のシリーズとして評価する場合があります。この場合、事前に事務局から応募者にご連絡します。

例 1:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスA	/	/	/	応募	応募	応募	/	/
レジデンスB	/	/	/	/	/	応募	応募	/

この場合、「レジデンス A」の視点 1 は 4~6 地域を加重平均したもので評価し、「レジデンス B」は 6・7 地域を加重平均したもので評価します。「レジデンス A」の 7 地域、「レジデンス B」の 4・5 地域は評価対象外です。

例 2:

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
レジデンスC	高断熱仕様 & ガス給湯機で応募		/	/	/	/	/	/
	/	/	高断熱 & 電気HP給湯機		/	/	/	
	/	/	/	/	通常断熱 & 電気HP給湯機			/

同一のシリーズ名であっても、断熱仕様および給湯熱源が異なるため 1・2 地域と 3・4 地域および 5~7 地域は別々の評価となる場合があります(一部が入賞し、一部が選外という結果がありえます)。これらをまとめて評価するか別々に評価するかは、断熱仕様や一次エネルギー計算結果等の差異の程度によります。

応募件数、地域区分、表彰単位等についてご不明な点がある場合は、事務局に電子メールでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先:

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー事務局

info@house-of-the-year.com

(7)提出資料詳細

p.2に一覧で示した提出資料の詳細を記します。

① 基本情報と応募シリーズ概要 (配布時のファイル名:2017_01_gaiyou.xlsx)

この Excel ファイルは以下の 2 種類のシートで構成されています。各シートに応募シリーズの内容等を入力して下さい。

◆基本情報シート

応募者情報(応募企業名、質疑等対応のご担当者名、応募するシリーズ名と応募する地域等)を入力して下さい。

◆シリーズ概要シート(シリーズ 1～3 用)

応募する住宅シリーズごとに、外皮断熱仕様、一次エネルギー計算結果、竣工棟数、設計の工夫等の概要を入力するシートです。資料②の作成および一次エネルギー計算(資料③)を行った結果をこのシートに転記して下さい。

住宅シリーズは 3 つまで入力できるようになっています。4 つ以上のシリーズで応募される場合は事務局にご連絡下さい。応募企業ごとに 1 ファイルを作成し、Excel 形式のまま提出して下さい。ファイル名は配布時のままでも変更してもかまいませんが、「2017_01」で始まる名称として下さい。

シートへの入力内容等の詳細を、各シート右側の印刷範囲外に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

② 視点 1-1 外皮断熱仕様 (配布時のファイル名:2017_02_gaihi.xlsx)

この Excel ファイルは以下の 4 種類のシートで構成されています。U 値シートおよび UA 値等シートに断熱仕様等を入力して下さい。

◆記入要領シート

このファイルの記入要領を記載しています。必ず内容を確認してから入力を開始して下さい。

◆U 値シート

応募する住宅シリーズの標準的な断熱仕様に基づき、外壁・天井など主な断熱部位の U 値(熱貫流率)を算出して下さい。算出した U 値は、UA 値等シートの該当する欄、および資料①の該当する欄に転記して下さい。

◆UA 値等シート

U 値シートで算出した U 値を転記し、標準的な開口部仕様(U 値・ η 値)を入力して、モデル住宅における U_A 値(外皮平均熱貫流率)などを算出して下さい。計算に使用する外皮面積等はモデル住宅での値であり、実際に竣工・販売された住宅における U_A 値等ではありませんのでご注意下さい(※)。算出した U_A 値等は、資料③の作成時に「エネルギー消費性能計算プログラム」に入力するほか、資料①の該当する欄にも転記して下さい。

◆付録シート

材料や開口部の熱的性能値などの参考資料を記載しています。

応募シリーズごとに 1 ファイルを作成し、Excel 形式のまま提出して下さい。複数シリーズでの応募の場合、ファイル名は「2017_02」で始まりシリーズ名がわかる名称として下さい(複数仕様での応募の場合も同様です。ファイル名の例:「2017_02_XYHOUSE(寒冷地仕様).xlsx」「2017_02_QR の家_5-7 地域仕様.xlsx」)。

U 値シート・UA 値等シートへの入力内容等の詳細を、各シート右側の印刷範囲外に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

他のソフト等により U 値および UA 値等を算出した結果を使用してもかまいません。その場合の設定および提出方法は、「記入要領」シートの記載に従って下さい。

(※)視点 1 の省エネルギー性の評価は、応募者間の条件を揃えて行うため、実際に建設された住宅ではなく、省エネルギー基準のモデル建物を想定して行います。

③ 視点 1-2 エネルギー消費性能計算結果

以下の URL(「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」)にアクセスし、一次エネルギー計算を行って下さい。先に資料②を用いて UA 値等を算出しておく必要があります。

<http://house.app.lowenergy.jp/>

応募件数 1 件ごとに、上記プログラムで計算して出力できる PDF ファイルを 1 つ提出して下さい。**太陽光発電を採用する場合は、太陽光発電を「採用しない」を選択した場合の計算結果も必要です。**

入力方法・出力方法の詳細は、プログラム内のヘルプボタンおよび配布している「2017_03_ichiji.PDF」をご覧ください。なお、提出するファイル名は「2017_03」で始まり、シリーズ名および応募地域区分等が判別できる名称として下さい(例:「2017_03_XYHOUSE(4 地域).PDF」「2017_03_QR の家_6 地域_太陽光採用なし.PDF」)。

※計算プログラムは例年 10 月 1 日前後にバージョンアップが行われます。計算結果を事務局で再現可能にするため、提出資料の計算は必ずバージョンアップ以降に行ってください。

④ 視点 2 省エネ設計手法・設備および健康・快適性向上手法の採用 (配布時のファイル名: 2017_04_shouene.docx)

通風利用や日射熱・蓄熱利用などのいわゆるパッシブ設計手法や、「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」で評価することができない各種の省エネ設備、健康や快適性の向上のための取り組み等で、応募するシリーズあるいは企業として標準的に採用しているものを記入して下さい。特定の物件にのみ、特別に採用した設備・手法等は評価対象外です。

内容は以下の 1)~6)の要素に区分し、採用している要素のみについて具体的な内容(設計手法、導入実例等。写真や図面を含んでよい)を区分ごとに A4 用紙 2 ページ以内(資料全体で 12 ページ以内)に収まるように記入して下さい。

- 1) 通風(自然風)の利用
- 2) 日射熱・蓄熱の利用
- 3) 日射遮蔽
- 4) 計算プログラムで評価できない省エネ設備等
- 5) 健康・快適性向上のための手法
- 6) その他省エネ・健康・快適性向上のための取り組み

Microsoft Word®形式のファイルを配布しますが、必ずしもこのファイルを使う必要は無く、独自書式での資料の提出でもかまいません。ただし、様式・ページ数制限は上記と同様とします(採用する手法を上記 1)~6)の区分に分け、各区分 A4 用紙で 2 ページ以内・資料合計 12 ページ以内)。

特段記載する内容が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は PDF ファイルに変換したものを提出して下さい(Word ファイルでの提出は、印刷時等にレイアウトが崩れる可能性があるため不可とします)。ファイル名は「2017_04」で始まる名称として下さい(例:「2017_04_視点 2.PDF」)。

⑤視点 3-1 情報発信

企業として、施主や見込み客などの一般住宅ユーザー向けに公開している省エネルギー・快適性関係の情報発信の内容を提出して下さい。例えば以下のような内容が考えられますが、これ以外の内容でも問題ありません。

- ・断熱や日射遮蔽の効果(快適性の向上、光熱費の削減など)
- ・高性能設備の効果(快適性の向上、光熱費の削減など)
- ・設備の効率的な使い方、メンテナンス方法の説明
- ・省エネルギー関連セミナーの実施

提出資料の書式は自由としますが、A4用紙4ページ以内におさまるようにレイアウトして下さい。

特段記載する内容が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は、PDFファイルとして提出して下さい。ファイル名は「2017_05」で始まる名称として下さい(例:「2017_05_視点 3-1.PDF」)。

⑥視点 3-2 仕様の標準化

資料②に入力した外皮断熱仕様や、資料③に入力した各種設備などが、住宅シリーズあるいは企業としての標準仕様であることが確認できる資料、あるいはそれらが明示されたユーザー向けの資料などがあれば該当部分を抽出して提出して下さい。断熱材や各種設備等のメーカーカタログ・パンフレット類は、標準仕様かどうかの確認資料とはなりませんので不要です。

提出資料の書式は自由とし、A4用紙4ページ以内におさまるようにレイアウトして下さい。

標準仕様であることが確認できる資料等が無い場合は、この資料は提出しなくてもかまいません。提出する場合は PDFファイルとして提出して下さい。ファイル名は「2017_06」で始まる名称として下さい(例:「2017_06_視点 3-2.PDF」)。

⑦内外観写真

住宅シリーズごとに、典型的なデザインおよび規模の住宅を選定し、その内外観写真を提出して下さい。

提出資料の書式は自由とし、1シリーズにつきA4用紙4ページ以内におさまるように画像等をレイアウトし、PDFファイルで提出して下さい。レイアウトされていない、画像データそのものの送付は不可とします。ファイル名は「2017_07」で始まり、複数シリーズでの応募の場合はシリーズ名のわかる名称として下さい(例:「2017_07_XYHOUSE 写真.PDF」)。

写真は実物件のものでも、モデルハウスのものでもかまいません。実物件の写真を載せる場合は、表札・住所等の個人情報^が写りこまないように注意して下さい。

⑧実物件図面

住宅シリーズごとに**実住宅**を1件選定し、その物件に関する以下の図面を提出して下さい。

- 1) 各階平面図
- 2) 立面図
- 3) 矩計図(資料②の断熱仕様が確認できるもの)

また、資料④で「採用する」とした設計手法・設備等が確認できる図面等があれば添付して下さい。

実住宅は以下の条件をできるだけ多く満たす物件を1件選定して下さい。

- ・典型的なプラン・規模で、かつ標準的な外皮断熱仕様・設備仕様を持つ物件であること
- ・(太陽光発電を標準的に採用とした場合)太陽光パネルが設置された物件であること
- ・平成28年10月1日から平成29年9月30日までの間に竣工した物件であること
- ・応募している地域区分(複数地域であればそのいずれか)で竣工した物件であること

図面は実住宅のものに限ります。資料⑦の写真と同じ住宅でも問題ありませんが、**モデルハウスの図面は不可**とします。**1シリーズにつきPDFファイル1つ**に図面をまとめて下さい(各種CADデータでの提出は不可とします)。また、同一シリーズでも複数の断熱仕様で応募する場合、矩計図は各断熱仕様のもを提出して下さい。用紙サイズやページ数に制限はありません。

ファイル名は「**2017_08**」で始まり、**ファイルが複数になる場合は内容が判別できる名称**として下さい(例:「2017_08_XYHOUSE 図面(寒冷地).PDF」)。

なお、図面内の施主名・住所等の個人情報がわかるものは黒塗り等で判別できないように加工してから提出して下さい。

⑨その他の資料

審査の過程で、上記以外の資料(断熱・開口部・各種設備施工時の写真、気密測定時の写真や結果、各種認定取得のエビデンス等)のご提出をお願いする場合がありますのでご協力下さい。

なお、入賞候補の住宅シリーズにつきましては、平成30年1月頃を目途に審査委員および事務局員が実際の竣工済み住宅(またはその時点で施工中の、同程度の性能の住宅)の見学をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

(8)応募資料送付先・お問い合わせ先等一覧

◆応募資料の電子メール送付先、および応募資料作成等全般に関するお問い合わせ先

事務局メールアドレス: info@house-of-the-year.com

◆振込金受領書のFAX送付先、および振込関係のお問い合わせ

事務局: 一般財団法人日本地域開発センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-7 第二文成ビル
FAX: 03-3501-6855
TEL: 03-3501-6856

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2017 振込金受領書 FAX 送付用台紙

宛先

一般財団法人 日本地域開発センター
ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2017 事務局行

送信日

FAX 番号 03-3501-6855

電話番号 03-3501-6856

発信元(応募者)

電話番号

FAX 番号

送信枚数(本状含め):合計 枚

振込金受領書の写しを貼付して下さい
(収まらない場合は 2 ページ目への貼付でもかまいません)